

TS-M2M-0024v2.0.0

oneM2M 技術仕様書 –OIC とのインターワーク

oneM2M Technical Specification –oneM2M and OIC Interworking–

サマリ（和文）：

アブストラクト：

本仕様書は、oneM2M と OIC のインターワーキング技術を規定する。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本文書は、TS-0001 の付則 F のアーキテクチャモデルに記載されている透過的インターワーキング手法（※OIC のリソースやコマンドをそのまま符号化し、oneM2M リソースに格納する方法）に基づく oneM2M と OIC のインターワーキング技術を記述している。

2 章 引用文献

3 章 定義と略語

4 章 表記法

5 章 アーキテクチャモデル

本章に記載のアーキテクチャモデルは、TS-0001 の付則 F のアーキテクチャモデルに基づくものであり、インターワーキングプロキシアプリケーションエンティティ（IPE）を使用するインターワーキングについて記述している。IPE は、oneM2M の AE と OIC クライアントによって構成される。OIC プロトコルにおいて、IPE は OIC サーバーとやりとりを行う OIC クライアントの役割を担い、各 OIC サーバーは AE のインスタンスとして IPE に作成・保持される。本仕様書では <container>リソースを使用した透過的インターワーキングがサポートされている。

6 章 アーキテクチャ側面

本章では、IPE が OIC クライアントとして提供する、以下のアーキテクチャ側面に関する機能について記載する。

- ・ OIC デバイスライフサイクル
- ・ OIC リソースディスカバリ
- ・ OIC インターワーキング手順
- ・ OIC サブスクリプション・通知
- ・ OIC デバイス管理
- ・ OIC プロビジョニング・セキュリティ

7 章 透過的インターワーキング機能

本章では、OIC リソースから、<contentInstance>の label 属性および contentInfo 属性へのマッピングについて規定する。

サマリ（英文）：

Abstract:

This document specifies the oneM2M and OIC Interworking.

Scope:

The present document specifies the interworking technologies for oneM2M and OIC interworking using the architecture identified in annex F of oneM2M TS-0001 for the following scenario:

- Interworking using oneM2M Resource Types for transparent transport of encoded OIC Resources and commands in oneM2M Resource Types between OIC Devices and M2M Applications.

NOTE: The present document limits Content Sharing Resources to <container> and <contentInstance> resources.